

平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 5月31日(土)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会1日目	Dコート	第6試合 16:30~												
<チームA> 帝京 東京 5位		85 <table border="0"> <tr><td>13</td><td>1Q</td><td>26</td></tr> <tr><td>28</td><td>2Q</td><td>18</td></tr> <tr><td>20</td><td>3Q</td><td>19</td></tr> <tr><td>24</td><td>4Q</td><td>29</td></tr> </table>	13	1Q	26	28	2Q	18	20	3Q	19	24	4Q	29	92	<チームB> 土浦日本大学 茨城 3位
13	1Q	26														
28	2Q	18														
20	3Q	19														
24	4Q	29														

【Bブロック】

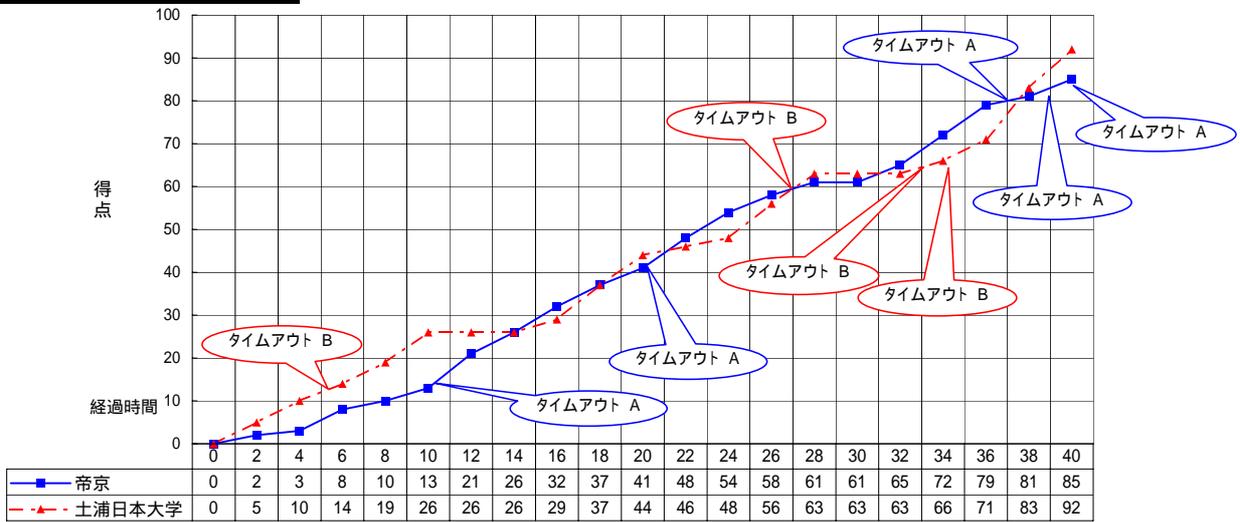
主審：久保 裕紀(指名) 副審：菊地 真吾(群馬)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	越後谷 政幸	16	4	2		2
	5	増子 匠	29	6	4	3	2
	6	古内 駿太郎	11	1	4		1
	7	尾崎 慶多					
	8	伊藤 余					
	9	左館 貴志					
	10	東海林 亮太					
	11	保谷 竜太					
	12	平澤 耕史					
	13	上村 健太	2		1		3
	14	山田 啓典	17		8	1	5
	15	鈴木 正雄	10		5		
	16	鈴木 堅士郎					
	17	佐藤 康輝					
	18	谷合 真樹					
コーチ 灘部 裕樹							
合計			85	11	24	4	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	浜田 将行	40	6	7	8	1
	5	天田 琢也					
	6	猪狩 承平	13	3	2		4
	7	岩崎 貴宏	32	6	5	4	4
	8	堀口 貴大	2		1		1
	9	嶋津 卓矢					
	10	飯島 洋					
	11	國井 貴晃					
	12	中村 桂大					
	13	畠山 和	3	1			1
	14	佐藤 恭平	2		1		2
	15	増淵 大輝					
	16	森山 雅仁					
	17	安達 和貴					
	18	岡本 英俊					
コーチ 笠原 成元							
合計			92	16	16	12	

：スターター / 出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

得点の推移 (2分毎)



戦評 記入者：本橋 靖史

第1P、帝京、土浦日大ともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。土浦は 浜田がオフェンスの中心になり、ミドルシュート、ドライブイン、3Pシュートを次々と決めペースを掴む。対する帝京は 山田のゴール下シュートなどで得点する。 山田 鈴木がオフェンスリバウンドを奪い土浦に喰らいつつあるが、この後の攻め手がなく点差が徐々に広がり、26 - 13と土浦リードで終了。

第2P、両チームともディフェンスはハーフコートマンツーマン。帝京は 山田、 鈴木のオフェンスリバウンドから 増子の3Pシュートという流れの良いオフェンスでペースを掴む。土浦はシュートが入らず点差は一気に縮まり、残り時間6分でついに同点になる。ここでようやく土浦 浜田の3Pシュートが決まり、ゲームは一進一退の様相を呈していく。帝京は 増子の1対1からのシュート、アシストで得点をとれば、土浦は 浜田の3Pシュート、ミドルシュートで返し、41 - 44土浦3点リードで第2Pを終える。

第3P、ディフェンスは両チームともハーフコートマンツーマン。帝京は 越後谷の3Pシュート、 山田のスティールからの速攻などで得点を重ねる。土浦は 浜田の3Pシュート、1対1からのドライブインなどで得点をあげるが、 浜田以外にオフェンスのオプションがなく単調になっていく。土浦攻撃の流れが悪くなりつつも、61 - 63土浦2点リードで第3P終了。

第4P、両チームともディフェンスに変化はなし。土浦は第3Pから続くオフェンスの悪い流れを変えられず、4分間ノーゴール。その間に帝京は 増子の1対1からのシュート、 鈴木のプロストプレイ、シュートブロックからの速攻などで逆転しさらに点差を広げる。残り時間5分、74 - 66と帝京が8点リードする。ここで土浦はタイムアウトを取る。土浦は 浜田を休ませる。これで流れが変わる。土浦に全員で攻める意識が戻り、ボールがよく回るようになる。 岩崎の3Pシュートを皮切りに 猪狩、 畠山の3Pシュートが立て続けに決まり、点差を一気に詰める。残り時間3分、81 - 80の1点差まで詰め寄せられたところで帝京がタイムアウトを取るが、土浦の勢いは止まらない。帝京は 増子の3Pシュートなどで得点を決めるが、土浦は 天田、 猪狩が3Pシュートを連続して決め、土浦が逆転。逆に1分28秒の時点で81 - 86と5点をリードする。残り時間30秒、帝京はファールゲームを仕掛けるが、土浦は落ち着いてフリースローを決め、85 - 92で土浦が勝利を収めた。